

# 大型クラゲの出現状況

(平成 29 年 10 月 5 日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構及び関係機関が広域で調査を実施しており、9月に行われた日本海の調査では大型クラゲは採集されず、対馬海峡及び日本海東北海域のフェリー調査でも出現量はごく少量で、今年度、大量出現の可能性は非常に低いと考えられます。

- ・ 9月に実施された対馬海峡の国際フェリー（博多～韓国釜山航路）による目視調査、日本海東北海域のフェリー（舞鶴～小樽航路）による目視調査及び日本海における調査船調査で確認された大型クラゲはごく少量でした。
- ・ 日本沿岸水域では7月から対馬周辺～山陰で散発的に確認されていますが、昨年同期と比較するとごく少量です。
- ・ これらの情報から、今年度の大型クラゲの出現量は昨年よりもかなり少なく、大型クラゲの大量出現の可能性は非常に低いと考えられます。
- ・ 本県沖への来遊はまだ不明ですが、今後の情報に注意してください。
- ・ 大型クラゲの目撃や入網がありましたら、水産振興センターまでお知らせください。

資料：国立研究開発法人水産研究・教育機構のホームページ  
(<http://www.fra.affrc.go.jp/kurage/>)

(一社) 漁業情報サービスセンターのホームページ  
(<http://www.iafic.or.jp/kurage/index.html>)

担当 秋田県水産振興センター  
資源部 齋藤  
電話 0185-27-3003  
Fax 0185-27-3004